LENS DRIVING DEVICE FOR VARIABLE LIGHT DISTRIBUTION TYPE **AUTOMOTIVE LIGHTING EQUIPMENT**

Patent number:

JP4092301

Publication date:

1992-03-25

Inventor:

KOBAYASHI MASAJI

Applicant:

KOITO MFG CO LTD

Classification:

- International:

F21M3/02; F16H1/20; F21M3/18

- european:

Application number:

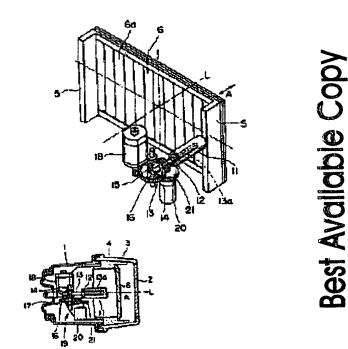
JP19900207827 19900806

Priority number(s):

Report a data error here

Abstract of JP4092301

PURPOSE: To extremely miniaturize an AC motor as a power source by converting the direction of displacement from circular motion to linear motion by means of a motion direction converting mechanism such as a screw mechanism, a rack-pinion mechanism, a crank mechanism or a cam mechanism and the like. CONSTITUTION: A first lens 6 is reduced in speed, but is energized by the normal/reverse rotation of the AC motor 18 of a lens drive device 19 via spur gears 16, 16,..., a worm 15 and a worm gear 14. And since a drive shaft 13 which threadedly engages a nut 12 with a male thread section 13a, is rotatably driven, a first frame 5 is constituted to be displaced to the direction of an arrow head A by the threaded engagement of both of them. The first frame 5 is slidably moved on the inner surface of a second frame 4 to the direction of a photo axis L, the first lens 6 is accurately displaced without changing the relative position of cylindrical lens steps 2a and 6a in pitch direction against a second lens 2, this thereby enables a relative distance between both of the lenses 2 and 6 to be changed.



19 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-92301

30 Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成 4年(1992) 3月25日

F 21 M 3/02 F 16 H 1/20 F 21 M 3/18 R 7913-3K 8009-3 J 7913-3K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全11頁)

ᡚ発明の名称 配光可変型自動車用灯具のレンズ駆動装置

②特 願 平2-207827

20出 願 平2(1990)8月6日

70発明者 小林

正自

静岡県清水市北脇500番地 株式会社小糸製作所静岡工場

内

⑪出 願 人 株式会社小糸製作所

東京都港区高輪4丁目8番3号

個代 理 人 弁理士 前田 和男

明 細 書

1. 発明の名称

配光可変型自動車用灯具のレンズ駆動装置

2. 特許請求の範囲

該レンズ駆動装置が直流モータの回転駆動力を 適宜速度に減速且つ増力する回動伝達減速機構と、 該回動を直線運動に変換するスクリュー機構、ラック・ピニオン機構、クランク機構又はカム機構 等の運動方向変換機構とから成ることを特徴とす

配光可変型自動車用灯具のレンズ駆動装置

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、二枚のシリンドリカルレンズの間隔 を調整することによりビームの拡散範囲を段階的 或は車速に連動して可変とする配光可変型自動車 用灯具のレンズ駆動装置に関するものである。

(従来の技術)

世来より、第11図に示すように、それぞれシリンドリカルレンズステップ100a、101aを構成した第一レンズ100と第二レンズ101を光軸L上に配置し、上記第一レンズ100に並行光東B1を入射すると共に、両レンズ100.101を取りして、第二レンズ101からの照射配光B2を収束(第11図(a)、(b)を照)

させるか又は拡散(第11図(c)、(d)参照)位置に 変位させて、第12図の照射パターンに示すよう に、拡散範囲を調節するように成るデュアルモー ドフォグランプ等の配光可変型自動車用灯具が知 られている。

そして上記配光可変型自動車用灯具では、両レンズ100、101の相対位置を光軸L方向にのみ変位させるレンズ駆動装置102が構成されるが、この種の灯具において、特にデュアルモードフォグランプではレンズ駆動装置の設置スペースに余裕がないばかりでなく、振動等による過酷な使用条件にさらされる等のことから、安価で且つ高精度を有する簡単な構成の装置を完成するに至っていなかった。

(発明が解決しようとする課題)

本発明は、上記問題に鑑みて創案されたものであり、小型且つ簡単な構造になると共に、堅牢且 つ高精度な配光可変型自動車用灯具のレンズ駆動 装置を提供することを目的とするものである。

(課題を解決するための手段)

を要旨とするものである。

(作用)

上記構成によれば、被駆動レンズを回動伝達減速機構を介して減速且つ増力することにより動力源の直流モータを極めて小型に構成することができる。そしてスクリュー機構、ラック・ピニオン機構、クランク機構又はカム機構等の運動方向変換機構によって変位方向を円運動から直線運動にする構造に成るため、全体の構造がコンパクト且つ簡単になる。

(実施例)

以下、本発明に係る配光可変型自動車用灯具の レンズ駆動装置の実施例を図面に従って説明する。 第1図及び第2図は、本発明の第一の実施例を 示すものであり、レンズ駆動装置にスクリュー方 式を構成したものである。

ケーシング1の前面に形成した矩形開口部に第 ニレンズ2を構成した前面レンズ3の脚部を嵌着 締結すると共に、該ケーシング1の開口部内面に 上記前面レンズ3の脚部形状と略同一の矩形を為

上記目的を達成するために、本発明に係る配光 可変型自動車用灯具のレンズ駆動装置は、灯体内 に光軸方向摺動自在に相互に内外挿した二個のフ レームを設け、内側の第一フレームに複数のシリ ンドリカルレンズステップを構成した光源側の第 ーレンズを固設し、該第一レンズと同ピッチ同方 向の複数のシリンドリカルレンズステップを有す る第二レンズを上記第二フレームに固設すると共 に、第二フレームの形状を第二レンズの形状に略 一致した形状に構成し、上記第一フレームと第二 フレーム間に軸方向相対変位駆動手段を前記灯体 内に構成し、平行光束の前方光軸上に前記第一レ ンズと第二レンズを配置して一方のレンズをレン ズ駆動装置によって光軸方向に変位し、光束の拡 散節囲を可変とする配光可変型自動車用灯具にお いて、該レンズ駆動装置が直流モータの回転駆動 力を適宜速度に減速且つ増力する回動伝達減速機 横と、該回動を直線運動に変換するスクリュー機 構、ラック・ピニオン機構、クランク機構又はカ ム機構等の運動方向変換機構とから構成したこと

す筒状体からなる第二フレーム4を固設してある。 また、該第二フレーム4には光軸し方向摺動自在 に筒状の第一フレーム5を内挿すると共に、該第 ーフレーム5に第一レンズ6を固設してある。上 記第一レンズ6と第二レンズ2はそれぞれ同ピッ チのシリンドリカルな凸レンズステップ 2 a. 6 aを構成したものであり、各レンズステップ2a, 6 a … は、光軸しと平行な軸位置上に対応してい る。7は、第一レンズ6の光軸上後方に形成した リフレクタであり、該リフレクタ7の放物反射鏡 面8の焦点Fに位置して点灯用のバルブ9のフィ ラメントが位置するように、ケーシング1の後端 にはバルブソケット10が固設してある。また、 11は前記第一フレーム5の後端に光軸しと平行 に突設し、端部にナット12を固設した筒状のホ ルダであり、該ホルダ11のナット12と雄螺子 部13aを螺合したドライブシャフト13は、ウ ォームギヤ14、ウォーム15及び複数の平ギヤ 16,16…から成る回動伝達減速機構17を介 して正逆回動制御可能に成る直流モータ18と回

動連結して成るレンズ駆動装置19を構成するも のであり、該レンズ駆動装置19は前記ケーシン グ1内に収容したものである。第一レンズ6はレ ンズ駆動装置19の直流モータ18の正逆転によ り、平ギャ16, 16…, ウォーム15及びウォ - ムギヤ14を介して減速増力されて、ナット1 2と雄螺子部13aを螺合するドライブシャフト 13が回転駆動するため、両者の媒合作用によっ て第一フレーム 5 を矢印 A 方向に変位するように 構成してある。この変位(矢印A)により第一フ レーム5は第二フレーム4の内面を光軸L方向に 滑動し、第一レンズ 6 は第二レンズ 2 に対してシ リンドリカルなレンズステップの2a.6aのピ ッチ方向の相対位置を変えることなく正確に変位 し、両レンズ2, 6間の相対距離を変更すること ができる。また、上記ドライプシャフト13の平 ギヤ16の一つにはボテンションメータ20の入 力軸に軸着した平ギヤ21が嚙合してあり、該平 ギヤ21の回動変位量と上記両レンズ2, 6の相 対距離の関係を予め設定することにより、該ポテ

ンションメータ 2 0 からの第一レンズ 6 の位置信号を得ることができるため、中央制御回路 (図示せず) によって直流モータ 1 5 を数値的に制御駆動することができる。

そして、上記構成では部品点数を少なくすると 共に、抽送ピッチを細かく設定することができる ことが特徴である。

次に、第3図及び第4図は、ラック・ピニオン 方式のレンズ駆動装置22を構成した本発明の第 二の実施例を示すものである。

図面において、23.24は第一レンズ6を固設した第一フレーム5から光軸しと並行に突設したホルダアームであり、該ホルダアーム23.24はケーシング1の内面に突設したガイド25.25の摺動孔に対して摺動自在に内挿すると共に、ケーシング1に軸設したガイドローラ26.26によって光軸しと並行に担持してある。また、上記両ホルダアーム23.24にはそれぞれラック23a,24aと暗合したピニオン27.28をそれ

ぞれクラッチ 2 9 、 3 0 を介してドライブシャャフト 3 1 で回動連結すると共に、該ドライブシャム 3 4 を暗音したウォーム 7 と直流モータ 3 3 の駆動軸に軸着した平ギヤ 3 8 を暗合し、上記ドライガシャカ 5 を構成した平ギヤ 3 8 を暗合した、上記ドラインシャフト 3 1 に軸着した平ギヤ 4 0 を暗合した平ギヤ 4 0 を暗かした 平 4 0 の回動を予めといる 2 であり、該ポテンションメータであり、該ポテンションメータ 3 6 かんなりの間係を予めたがであることにより、该は「一 2 を関係を受けることができる。 8 できるに関係を取りますることができる。 8 できるに関係を対している 1 できる。 8 できるに対している 1 できる 1 できる

上記構成では、直流モータ 3 3 の出力は、平ギヤ 3 7 . 3 8 . ウォーム 3 4 及びウォームギヤ 3 2 を介して減速増力されてドライブシャフト 3 1 の両端に設けたクラッチ 2 9 . 3 0 を介して回動連結したピニオン 2 7 . 2 8 はラック 2 3 a . 2 4 a と 軸

合して回動し、両ホルダアーム 2 3. 2 4 を抽送して第一レンズ 6 を光軸し方向に変位するようになるもので、抽送スピードが速い特徴を有する。また、上記クラッチ 2 9. 3 0 は第一レンズ 6 を第二フレーム 4 に組み付ける際にピニオン 2 7. 2 8 とラック 2 3 a. 2 4 a の 噌合位置調整に稼動せしめられる。

第5図及び第6図は、他のラック・ピニオン方式のレンス駆動装置41を構成した第三の実施例を示すもので、前記構成と異なる部分について説明する。

図面において、23.24は第一レンズ6を固設した第一フレーム5から光軸しと並行に突設したホルダアームであり、該ホルダアーム23.24はケーシング1の内面に突設したガイド25.25の摺動孔に対して摺動自在に内挿すると共に、ケーシング1に軸設したガイドローラ26によって光軸しと並行に担持したものである。また、上記両ホルダアーム23.24にはそれぞれラック23a.24aが形成してあり、該両ラック23

a. 24aと暗合したピニオン27. 28をドライブシャフト31で回動連結すると共に、上記ピニオン27と暗合する複数の平ギヤ42a. 42b…の組合せから成る回動伝達減速機構35を介して直流モータ33の駆動軸に軸着した平ギヤ38と回動連結してある。36は、上記平ギヤ42bの一つと入力軸に軸着した平ギヤ40を暗合してなるポテンションメータである。

上記構成では、直流モータ33の出力は、平ギャ42a、42b…から成る回動伝達減速機構35を介して減速増力されてドライブシャフト31を回転させるように成っている。このドライブシャフト31の両端に軸着したピニオン27、28がラック23a、24を抽送して第一レンズ6を光軸し方向に変位するように成る。本構成ではギャの種類が少なく設計が平易にできる特徴を有する。

第7図及び第8図は、クランク方式のレンズ駆動装置43を構成した第四の実施例を示すもので

上記構成では、直流モータ57の出力は、平ギヤ56.58.ウォーム52.53.ウォームギヤ54.55及びベベルギヤ48.49を介して波速増力されて各ベベルディスク44a.44b.45a.45bの回動変位によって第一フレーム5の後端に枢着したクランでで第一フレーム5の後端に枢をしたクランクでを光軸しての神送を4本のクランクで、第一レンズ6の神送を4本のクランクアーム50a.50b.50c.50dで駆動機構を構成する特徴を有する。

第9図及び第10図は、カム方式のレンズ駆動装置63を構成した今一つの実施例を示すものである。

図面において、64.64は第一レンズ6を固 設した第一フレーム5の後端に突設した一対のホ ルダアームであり、ケーシング1内に固設したフ レーム65の両側板65a.65aの内面に密接 ある.

図面において、44a, 44b及び45a, 4 5 b はそれぞれケーシング 1 に突設した板軸 4 6. 47に一対ずつ対向して軸設したベベルディスク であり、それぞれベベルギア48,49と暗合し、 異方向に回動変位する構成に成る。該各ベベルデ ィスク44a、44b、45a、45bには第一 レンズ6を固設した第一フレーム5の後端に一端 を枢着したクランクアーム50a,50b,50 c. 50dの他端を回動自在に枢着し、第一レン ズ6を鉛直に担持して成る。上記両ベベルギヤ4 8. 49はそれぞれドライブシャフト51の両端 に軸着したウォーム52.53と噛合するウォー ムギャ54、55と一体になると共に、該ドライ プシャフト51に軸着した平ギヤ56と直流モー タ57の駆動軸に軸着した平ギャ58を暗合した 回動伝達減速機構59を構成して成る。60は、 上記ドライブシャフト51に軸着した平ギヤ61 と入力軸に軸着した平ギャ62を嚙合して成るボ テンションメータである.

すると共に、光軸しと並行に形成した突りブ66. 66をそれぞれガイド孔67、67に対して摺動 自在に嵌合する構造に成っている。また、69. 69は上記両側板 65 a. 65 a 間に軸設したド ライブシャフト68の両端に基部を固着したカム アームであり、両カムアーム69、69に穿設し たカム溝70、70には上記ホルダアーム64. 6 4 にそれぞれ突設した係合突起71.71が摺 動自在に嵌合し、該カムアーム69、69の回動 変位によってホルダアーム64.64を光軸し方 向に変位して成る。上記ドライブシャフト68は 該軸に軸着したウォームギヤ72と、直流モータ 73の駆動軸に軸着した平ギヤ74と嚙合した平 ギャ15と一体に成るウォーム16を嚙合して成 る回動伝達減速機構11を介して回動連結すると 共に、該ドライブシャフト68に軸着した他の平 ギャ78とポテンションメータ79の入力軸に軸 着した平ギャ80を嚙合してある。

上記構成では、直流モータ73の出力は、平ギヤ74,75,ウォーム76及びウォームギヤ7

2を介して減速増力されてカムアーム69.69 を回動変位させ、該カムアーム69.69のカム 構70.70と嵌合している係合突起71.71 がカム面に沿って移動するため、ホルダアーム6 4.64は突リプ66.66をガイド孔67.6 7に嵌合した状態で光軸し方向に抽送変位する。 従って第一レンズ6の抽送を面で支持した構造に 成るため、安定した変位駆動機構を構成する特徴 を有する。

(発明の効果)

本発明に係る配光可変型自動車用灯具のレンズ 駆動装置は、以上のように構成したから、被駆動 レンズを回動伝達減速機構を介して減速且つ増型 することにより動力源の直流モータを極めて小型 に構成することができる。そして、スクリュー級 構、ラック・ピニオン機構、クランク機構又力 に構成するでは、クランク機構以力 は機構等の運動方向変換機構によって変位方のを 円運動から直線運動にする構造に成るため、 の構造をコンパクト且つ簡単に構成することがで る等の特徴を有するものであり、本発明実施によ

第9図は第五の実施例を示すレンズ駆動装置の 斜視図、

第 1 0 図は同レンズ駆動装置を搭載した灯具の 要部縦断面図(a)、同平断面略図(b)及び同背面図(c)、

第11図(a)。(b)及び(c)はそれぞれ配光可変型灯 具の原理を示す説明図、

第12図は同灯具の照射パターンである。

1 …ケーシング	2 … 第二レンズ
4 …第二フレーム	5 … 第一フレー』
6 …第一レンズ	7…リフレクタ
9 …点灯バルブ	11…ホルダ
2 …ナット	

1 2 ···ナット
1 3 · 3 1 · 5 1 · 6 8 ···ドライブシャフト
1 4 · 3 2 · 5 4 · 5 5 · 7 2 ··· ウォームギヤ
1 5 · 3 4 · 5 2 · 5 3 · 7 6 ··· ウォーム
1 6 · 2 1 · 3 9 · 4 0 · 4 2 · 5 6 · 5 8 ·

61.62.74,75.78.80…平丰ヤ 17.35.59.77…回動伝達波速機構

18.33,57,73…直流モータ

り得られる効果は極めて大きい。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明に係る配光可変型自動車用灯具の レンズ駆動装置の実施例を示すもので、

第1図は第一の実施例を示すレンズ駆動装置の 斜視図、

第2図は同レンズ駆動装置を搭載した灯具の要 部縦断面図(a)、同平断面略図(b)及び同背面図(c)、

第3図は第二の実施例を示すレンズ駆動装置の 斜視図、

第4図は同レンズ駆動装置を搭載した灯具の要 部縦断面図(a)、同平断面略図(b)及び同背面図(c)、

第5図は第三の実施例を示すレンズ駆動装置の 斜視図、

第6図は同レンズ駆動装置を搭載した灯具の要 部縦断面図(a)、同平断面略図(b)及び同背面図(c)、

第7図は第四の実施例を示すレンズ駆動装置の 斜視図、

第8図は同レンズ駆動装置を搭載した灯具の要 部縦断面図(a)、同平断面略図(b)及び同背面図(c)、

 1 9. 2 2. 4 1. 4 3. 6 3 … レンズ駆動装置

 2 0. 3 6. 6 0. 7 9 … ポテンションメータ

 2 3. 2 4. 6 4 … ホルダアーム

 2 5 …ガイド
 3 a. 2 4 a … ラック

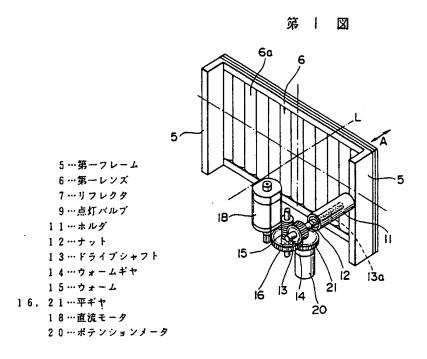
27. 28…ピニオン 29, 30…クラッチ 44a, 44b, 45a, 45b…ベベルディス ク

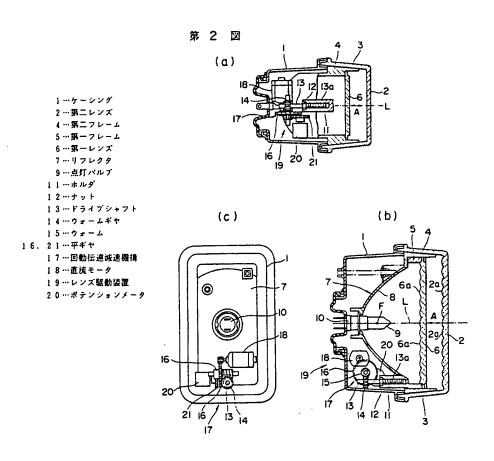
50 a. 50 b. 50 c. 50 d …クランクアー ム

6 5 … フレーム 6 6 … 突リプ 6 7 … ガイド孔 6 9 … カムアーム

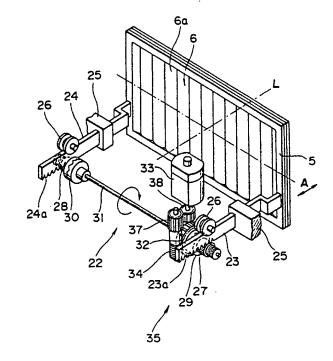
70…カム溝 71…係合突起

特 許 出 願 人 株式会社小糸製作所 代理人 弁理士 前 田 和 男



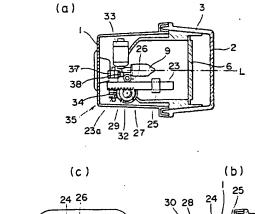


第 3 図



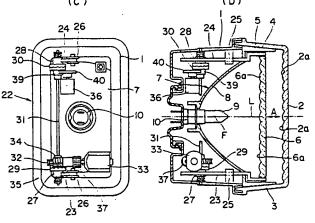
- 6 …第一レンズ 22…レンズ駆動装置 23. 24…ホルダアーム 25…ガイド 27. 28…ピニオン 31…ドライブシャフト 32…ウォームギヤ 33…直流モータ
 - 34…ウォーム
 - 35…回動伝達減速機構





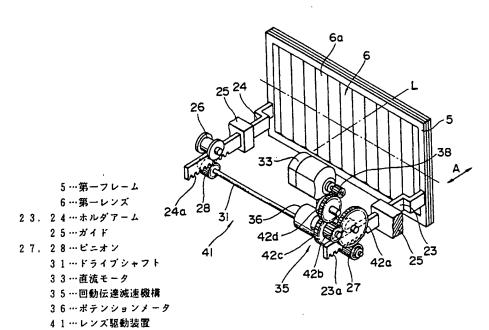
第 4

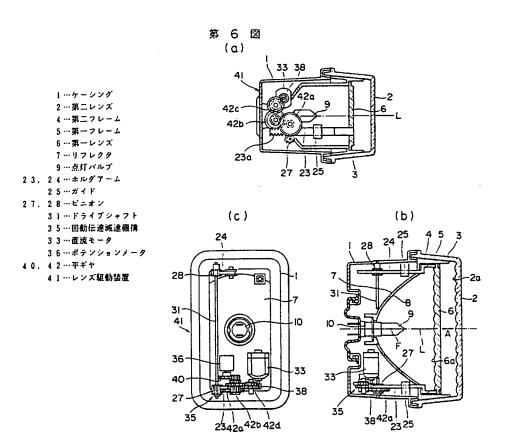
図

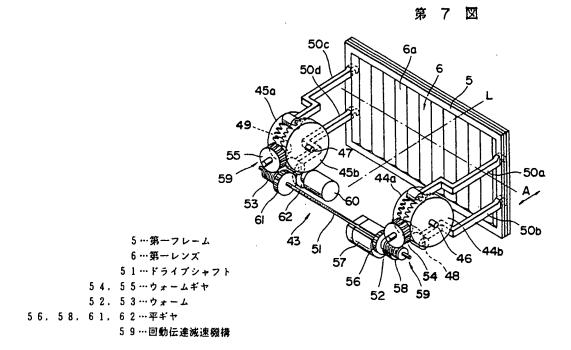


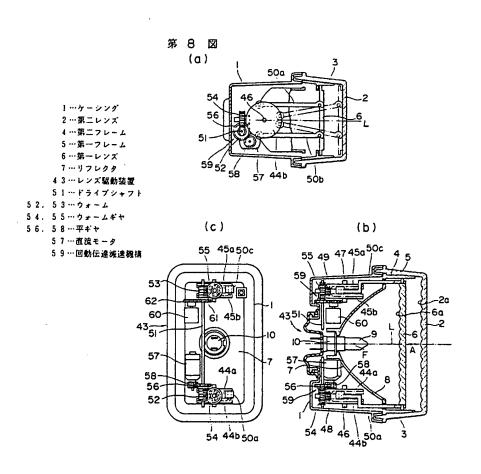
Best Available Copy

第 5 図

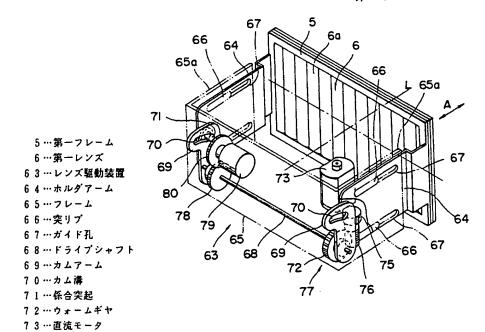








第 9 図



7 6 …ウォーム 7 7 …回動伝達減速機構

79…ポテンションメータ

78.80…平ギヤ

